

総合的な学習の時間

「やさしさのある社会をめざして～手話体験～」

厚木市立依知南小学校



単元（題材）目標

- 私たちの身の回りの福祉に興味をもち、進んで関わり合おうとする態度を育てる。
- 耳の不自由な方とコミュニケーションをとる方法を理解する。

（1）実施時期

令和元年6月25日（火）

（2）対象（学年等・人数）

第4学年81名（1組41名、2組40名）

（3）指導者（教諭・外部講師等）

外部講師：厚木市手話サークル あゆの会（聴覚障がいの方1名、手話通訳者1名）

（4）実施内容

- ①講話「聴覚障がいの方の生活」……困っていることや、生活の工夫について
- ②聴覚障がいの方とのコミュニケーションをとる方法について
口話、空書、身振り、筆談など（ジェスチャーゲームで体験しながら）

③手話体験

- ・手話の基本的な知識
- ・簡単な会話、あいさつ
- ・「依知南小学校」を表す手話を知り、自己紹介に挑戦する。

④質疑応答

- ・児童の質問に丁寧に答えていただいた。

⑤ふり返り

- ・体験学習実施後、感じたことや気づいたことをまとめた。

〈児童の感想：抜粋〉

- ・手話には、それぞれ意味があって、分かりやすかったです。
- ・手話しか耳の不自由な人に伝わらないと思っていたけれど、空書や口話でも伝わることを初めて知りました。
- ・いろいろな人と会話ができていいなと思いました。
- ・聴導犬など、人を助ける犬がたくさんいることが分かりました。



（5）成果

- 「話すことができないってどういうことだろう。」と思っていた子どもたちが、優しく生き生きと手話で話しかけてくれる講師と接し、「音声がなくとも伝わるのだ。」と感ずることができた。あいさつや学校に関する手話を教わり、一生懸命に手を動かし、コミュニケーションをとろうとしていた。

（6）その他

- 体験学習後、手話について調べたグループが発表する授業を行った。